

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月15日				
事業所名		公表日 2026年3月15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2		職員の総人数は決して充足している状態ではないため、職員が体調不良で急遽欠勤になると不足してしまうことがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		廊下やトイレが狭く、また細かい段差があるため身体障がい児には窮屈な思いをさせてしまっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		児童が主に過ごす支援室は十分な広さが確保できており、過ごしやすい空間となっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	支援室は2部屋あるため、個別での使用が可能	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	月例会議において話し合いの時間を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	年に一度行う保護者向け評価表のご意見を参考にして、実施後の月例会議の場で共有・検討の時間を設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月例会議にて行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		現在は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		現在、全社的にDX化支援研修を行っている他、定例で社内研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	適切に公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	適切にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児童発達支援管理責任者が作成した原案を元に、他職員も交えてカンファレンスを行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		共有については十分に行われていない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	社内で統一化されたツールを用いてアセスメントを行っている他、事業所として日々の行動観察によるアセスメントも随時行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	本人支援、家族支援、移行支援、地域支援すべて具体的に支援内容が設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	月例会議において話し合いの時間を設けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		事業所をまたぎ、社内で活動内容の共有を行っている他、他社の取り組みの情報収集も行い、それを取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	一日の時間の中で集団活動の時間と、個別活動の時間を必ず設けるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	毎日の昼礼にて打ち合わせを行っている	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		気付いたことについては共有ノートを用いて情報共有を欠かさないようにしているが、毎回ではない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3	必ず記録を取っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的に保護者の方と面談を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2		4つの基本活動のうち、地域交流については現状あまり機会を持っていない。 今後は積極的に地域交流を活動に取り入れていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	子どもが自己決定する力を育てるために、日々の支援の中で小さい決定を意識して支援を行っている。 また、月例会議の際には同内容の研修を行い、職員間での認識も統一している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	参加できる機会があれば必ず管理者、または児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		適切に連携を行い、支援体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者の方を通して、学校との連携・情報共有は適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		現状は就学前の保育園、幼稚園との連携は履かれていない。 今後は連携を行い、新規利用児童がスムーズに事業所に入っていけるように努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6		現状は卒業児がまだいないため、対応できていない。 今後卒業予定の児童がいる場合は、移行先との連携を図っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		現状は連携が図れていない 助言を受ける機会を設けられるよう働きかけていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		地域交流については現状満足にできていない。 定期的に交流の場を設けられるよう働きかけていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	管理者が参加している。 今後は児童発達支援管理責任者はじめ、他職員も参加できるよう促していく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の連絡帳でのやり取りの他、朝夕の送迎の際に保護者の方と情報共有する時間を設けている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		ペアレントトレーニングや、事業所で効果的だった支援内容の共有は行っている 家族参加の研修は現状できていないので、これから機会を設けていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	適切に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	作成した際は必ず保護者の方に確認をしていただき、同意のサインをいただいている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		必ず説明を行い、同意のサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	ご相談のお声がかかった際は必ず時間を作り、面談・助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3		現状は実施できていない 保護者会等の機会を設けていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れに対しては必ず面談の時間を作っている その際に聞いた話は共有ノート・日々の昼礼・月例会議において必ず共有している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		月に一度の通信の作成、隔週のブログ更新、毎週のSNS更新を必ず行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		保護者とは個人情報取り扱いにおける同意書にサインをいただいている 職員に対しては機密事項秘匿誓約書にサインをいただいている	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	情報共有においては細心の注意を払って行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		現状は地域住民の方をご招待することができていない 地域とのつながりのため、今後は機会を設けていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	利用契約時に保護者に行っている 職員に対しては各委員会や避難訓練の際に共有を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		現在は対象となる利用者はいらっしゃらないが、そういったことがあれば必ず確認・職員間での共有を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	適切に行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的な避難訓練やBCP訓練を行い、不参加の職員に対しても内容を周知している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		適切に行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	月例会議にて行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に一度必ず行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		適切に行なっている	